

訳20 その山は、この京でたとえるならば、比叡山（ひえいざん）を二十ほど重ね上げているような高さで、かたちは塩尻（しおじり）のようであった。

問一 塩尻とは塩を取るために砂を円錐状に盛り上げたものである。何が塩尻のようだったのか。

ア 比叡山の形  
イ 雪の積もり方  
ウ 富士山の形